



筑波大学新聞 第247号

雑誌名	筑波大学新聞
号	247
発行年	2005-09-05
URL	http://hdl.handle.net/2241/00123211



第247号
編集責任
筑波大学新聞
編集委員会
委員長 榎 隆
TEL: 029(253)2040-1555
E-mail: pcc@u-tokyo.ac.jp
発行所
筑波大学
茨城県つくば市
天王台1-1-1



礎学類を改称した応用理工学類、工学システム学類、社会学類の6学類からなる。応用理工学類は工学との差異を明確にするための名称でもある。当初、工学分野と「理学」分野に分けて再編する案も検討されたが、最終的には「理工学群」として幅広く人材を募ることとした。

情報学群は、現在の情報学類を改組した情報科学類と、図書館情報専門学群を改組した知識情報・図書館学類と新設の情報メディア学類と編成する。

06年度以前の入学者は、卒業まで現行の学群・学類に在籍したまま学年進行することになる。

今年夏の夏休み、初めて8月31日までの休暇を経験した。実家の山形県は夏休みが短いからだ。例年8月22か23日に夏休みは終わる。休みが1カ月ない年もある▼全国版のテレビニュースは、毎年8月31日の夏休み最終日、プールではしゃぐ小学生の姿を放送する。そんな時、山形の子供は教師に「なんで山形県は夏休みが短い」と聞く。答えは決まっていた。「山形は雪国だから。その分、北海道のように冬休みが長い」。その後、それは嘘であることがわかった▼授業数を増やして過密授業を緩和する。それによって教師の負担を減らすことが目的だと聞いた。小学校のクラスメートが集まって、討論したこともある。「不公平だ」「もっと遊びたい」。不満が噴出した▼進学する大学までも夏休みが短いとは予想だにできなかった。先日、同じ学類の友人と3学期制についての議論になった。当然、筑波大の夏季休業も話題にのぼった。小学生的議論とちがって、留学や海外旅行、免許合宿など、長期休暇をどう有効に使つかで話が弾んだ▼学生も大学も、長期休暇の可能性に気づいていないのかも知れない。私なら、長期休暇がさらに長くなったら、好きな漫画家のスタジオでアシスタントとして働いてみたい。休暇が長くなれば、夢も可能性も無限大になるはずだ。

ナンバー学群を廃止

07年度から 9学群23学類に再編 新学群隣接する学問分野で

73年の開学以来、新構想大学の中核として文理融合、学際性の中核をなってきたナンバー学群が34年目に姿を変えることになった。岩崎洋一学長が7月21日午後、大学本部で記者会見し、「07年度からナンバー学群を廃止し、現行の7学群15学類を9学群23学類に再編する」と発表した。体育、芸術の2専門学群は現行通り。学群・学類再編問題は昨春秋に検討委員会を設置し、新たな学問領域に柔軟に対応し、受験生や社会から見て「わかりやすい」教育組織を目指して検討を進めてきた。新学群編成委員会(委員長林史典副学長・教育担当)の再編案を7日の教育研究評議会でも了承、21日午前、開かれた役員会で決定した。12月に文部科学省と協議し、2年後に第一期中期計画を変更する。(特集面に関連記事)

コア・カリキュラム編成へ

新学群の最大の特徴は、「コア・カリキュラム」を学問領域の近い学類で新学群を編制したこと。この点について岩崎洋一学長は「学群ごとに関連性のある幅広い教育が可能になる」と語った。それを具体化するために近く学群ごとの

29日に行われた大学説明会でも説明し、受験生に周知徹底を図った。

07年4月に設置される学群は、体育と芸術の2専門学群を除くと7学群23学類。自然学類、図書館情報専門学群は完全に改組される。人文・文化学群は、人文

新学内バス 教授・システムが提案した、月3500円相当になったが、学内構成員に対して発行される特殊定期券の利用率が決定した。学生の負担額は、検討プロジェクトチーム(主査石田東生

特色ある大学教育支援プログラム

芸術「3C力養成プロ」採択

文部科学省が進める「特色ある大学教育支援プログラム」(特色GP)の今年度の選考結果が7月22日、発表された。「教育課程の工夫改善に関する」分野で、芸術専門学群の「アート・デザイン教育による3C力の育成」が採択された。今年度の申請総数は410件で、採択数は47件だった。

「特色GP」は教育の改善に関する、特色ある優れた取り組みを実践している大学を選び、社会に公表することによって高等教育の改善・改革を推進することを目的に03年度から開始された。本学では、初年度に医学専門学群の「先進的な

募集テーマは「総合的取り組み」教育課程の工夫改善「教育方法の工夫改善」「学生の学習及び課外活動への支援の工夫改善」「大学と地域・社会との連携の工夫改善」に関する5つ。今年度の予算は約33億円。採択された大学のう

た「学群・学類再編の考え方と基本骨格について」では、「理工学群」に情報学類を加えて編成し、図情は現行のまま存続させるとしていた。しかし4月末にこの「情報学群案」が急浮上し、情報と図情の教員で検討を進めてきた。

医学群は、現在の医学専門学群を改称した。医学類と看護・医療科学類を看護学類と医療科学類に分けて編成する。

06年度以前の入学者は、卒業まで現行の学群・学類に在籍したまま学年進行することになる。

全体をまとめる力」の3つを指す。異なる専攻の学生で構成されるグループが構想から施工・管理、運営までを行うことによって、大学カリキュラムでは育成が難しい3C力を養う。

現在本学で行われているキャンパスリニューアルはこのプログラムの一環で、これまでに芸術専門学群学生控室(芸パチ)など10箇所の学内設備を手がけてきた。またつくばエキスポプレ



記者会見で学群再編案を説明する岩崎学長(提供：常陽新聞新社)

事業説明会に 46 社参加

学生の要望反映へ

サービス
停止「避けられそう」

体芸、学生宿舎の食堂、売店、浴場を運営してきた吉池サービス(本社1つ、市天久保)が11月に撤退することを受け、厚生会は8月19日、後任事業委託に関する説明会を開いた。

説明会には、大手コンビニエンスストアのイーエムピーエム・ジャパン(本社11東京・港区)やレストラン経営を手がけるヤマノ・スエヒロ・ダイニング(本社11東京・渋谷区)など46社が参加した。厚生会事業を委託する企業を公募するのは今回が初めてだ。9月5日まで企業から営業時間や販売価格などを盛り込んだ業務に関する企画書を募集し、10月上旬に委託

企業を決定する。

募集する業務は▽食堂▽喫茶▽食料品・日用品・雑貨類販売▽浴場の4つ。企業は4業務全てに一括して応募できるが、業務を選択して応募することも可能だ。食堂業務は、体芸、学生宿舎の2つに分割して応募することができる。

学生生活課によると、食堂業務を希望する企業は説明会に参加した全企業46社中24社と最も多かった。同課は「食堂は利用者が多く、味や価格を工夫すれば大きな利益が見込めるから」と説明する。

説明会に参加した企業からは「長期休みなどは客足が遠のくのではないかと」

格設定の基準はあるのか」などの質問が出た。売店業務を希望するイーエム・ピーエム社は「出店を機に、茨城地区の店舗拡大を目指したい」と話す。企画書は、吉池サービスの品揃えなどを参考に作成、飲み物の値引き販売を検討中だ。

浴場業務を希望する企業は近鉄ビルサービス(本社11大阪府)など4社で最も少ない。アテネオリンピックの選手村で食事提供をしたイーエム・サービス(本社11東京・港区)をはじめとする3社は4業務全ての受託を希望している。同課は「浴場の営業を手がけている企業自体が少ないから、こんな数字だろう」と

推測する。

今後は厚生会理事会で、宿舎風呂アンケートの結果や学生の意見を参考に選定を行う。選定過程で企業と学生理事を入れた厚生会の意見交換会も開く。11月24日の吉池サービス撤退までに業者が決まらず、サービス停止が危惧されていたが、「その可能性はきわめて低い」と話している。

SASの早期発見・治療

谷川助教授ら起業

睡眠時無呼吸症候群(SAS)の早期発見・治療を目指し、谷川武助教授(人間総合)らがベンチャー企業「ソムノニクス」(本社11つくば市吾妻、資本金1千万円)を設立した。谷川助教授が社長を務め、検査機器「ソムニー」を貸し出し、SASの疑いがある人には医療機関や減量プログラムを紹介する。産学リエン共同研究センター(I-LIC)の創業支援プロジェクトに採択されてお

り、同プロジェクトからのベンチャー企業設立は4社目となった。

ソムニーは口や鼻に装着したセンサーが睡眠時の呼吸状態を計測する。検査費用は一回5千円。希望者はソムニーを一晩装着して検査し、同社に返送する。陽性が疑陽性と診断された場合、受診者に医療機関を紹介し、精密検査の実施を勧める。診断がついた患者は持続陽圧呼吸療法(CPAP)により治療することになる。同社は電話での窓口

を設け、患者にCPAP使用に関する対応を行う。

初年度は、全日本トラック協会や福島県内の自治体を対象に2万人を検査する予定。6千万円の売り上げを目指す。

SASは、睡眠中に気道が閉じることから無呼吸状態が断続的に続き、睡眠の質が下がる。そのため日中に強い眠気を催し、交通事故などの危険性が高まるとされている。

NPO「つむぎつくば」

つくばベンチャー大賞創設

法人つむぎつくば(代表11高木英明教授・システム)

がつくばベンチャー協会と共催で「つくばベンチャー大賞」を創設した。つくば発ベンチャー企業を対象にした賞が筑波研究学園都市で創設されるのは今回が初めて。対象企業は100社を超え、本賞の制定によって産業の発展と質の向上が期待される。

対象となるのは、つくば市と周辺で発足した企業やつくばの研究機関での研究成果を事業化した企業。選

考委員会とつむぎつくば会員の投票によって、ベンチャー大賞と特別賞を決める。第1回となる今年度は6月29日から9月30日まで募集し、11月中旬には受賞者が発表される。

つくば研究支援センター(つくば市・竹園)で6月29日に開催された「つくばベンチャーの夕べ」に約120人が集まり、席上で募集要項が発表された。

高木考委員長は「売り上げよりもつくばの特徴を活かした活動を重視して選考したい」と話している。

日本語・日本文化学類

大連で出前授業

日本語・日本文化学類が学類の特色を活かした国際貢献をしようと、教員が海外で出前授業を行う国際交流事業「世界の中の筑波大学」を企画した。その一環として、7月23、24の両日、中国の大連大学で同学類の教員ら6人が授業を行った。複数の教員が海外へ出張して講義を行うことは国内の大学では珍しい。

初日は、今井雅晴学類長(人文社会)らが「これからの日本文化研究」や「日本の西欧化の中の詩歌」など日本文化について講義した。日本語や日本文化に関心を持つ学生や教員、地域住民など約200人が受講した。

2日目は、言語学や日本語の文法などを中心に沼田善子助教授(同)らが授

業を行った。後半の質疑応答では、現地の学生から日本語での質問が相次いだ。これまでも同学類は招待講演や日本語教育実習などで海外の大学と積極的な交流を続けてきた。出前授業のよつな連続講義を行ったのは今回が初めて。10月にはスロベニアのリュブリャナ大学で講義を行う。

同企画は提携先の大学を中心に、10年計画で行われる。使用言語は日本語だが、将来的には英語での授業も検討する。

今回採択された新規課題は54件、継続課題が8件だった。1件につき上限200万円、総額は1000万円。

昨年度の採択件数は、新規、継続合わせて13件で、今年度は全体で5件増えた。予算の総額は、昨年度の1100万円から100万円減った。

6月24日に応募を締め切り、油田信二副学長(研究・産学官連携担当)、工藤典雄副学長(総務・企画担当)、吉武博通学長特別補佐らで構成されるワーキンググループ(WG)が審査した。

夏休み自由研究お助け隊の実施

夏休み自由研究お助け隊

中学生60人参加

中学生の夏休みの自由研究を技術職員がサポートする「夏休み自由研究お助け隊」が7月30、31の両日、総合研究棟Bで行われた。2日間つくば市内を中心に中学生60人が参加した。この催しは技術専門官の斉藤静夫さん(数理物質科学等支援室)らが企画、運営したもので、昨年に引き続き今回が2度目。自由研究を通して科学を身近に感じてもらうことがねらいだ。

今回は生徒の興味、関心ごとに「スポーツと脳の動きの関係について」「気象について」など、15の研究テーマを設けた。テーマが決まらない生徒のためには「何でも相談コース」を設け、相談を受けた。

参加した市内の中学2年の女子生徒は、「実験が楽しかったし、説明もわかりやすかったので自由研究にとっても役立ちそう」と話した。

国際経営プロ専攻

法科大学院法曹専攻

文科省支援プロに採択

文部科学省が法科大学院と専門職大学院の優れた教育研究に重点的に予算を配分する「法科大学院等専門職大学院形成支援プログラム」の今年度の採択結果が8月17日に発表された。本学からは3件申請したうち、2件が採択された。今年度は全国から25件の申請があり、採択は8件だった。このプログラムには18億円の予算が配分される。

ビジネス科学研究科国際経営プロフェッショナル専攻からは、本学を幹事校に

青山学院大、同志社大の大学院と連携して行う「ビジネススクール教育の質保証システム開発」が選ばれた。同プロジェクトは、国内にあるビジネススクールの育成すべき人材▽教育システム▽システムの評価の指針確立を目指す。

初年度は指針の第一次案を策定し、各校で教育実践を公開し、教員による相互評価の場を提供する。権広計教授(ビジネス)は「専門職大学院の第3者評価機関を確立し、国際的な産業

界での認知度を高めたい」と話した。

国内で唯一の社会人向け夜間開講の法科大学院である同研究科法曹専攻からは「夜間社会人学生用実践的学習支援システム」が選ばれた。高速インターネット技術を活用し、時間的制約の多い社会人学生への学習支援システムの整備・開発を目指す。

同専攻は最新の高速ネットワーク通信インフラを備えた「Tビル」「秋葉原ダイビル」

テラヘルツ波の取り出し

門脇教授 世界で初めて成功

21世紀COEプログラム「未来型機能を創出する学際物質科学の推進」の拠点リーダー、門脇和男教授(数理物質)が、このほどテラヘルツ領域の電磁波で

ある、テラヘルツ波を外部に取り出すことに、世界で初めて成功した。テラヘルツ波は、将来的に医療機器などに応用できることが期待されている。

テラヘルツ領域は、電波と光の間にあり、これまで光技術や電磁技術をうまく使えない領域とされてきた。門脇教授は、ジョセフソン接合という、超伝導体を重ねて作った素子を用いて発振させ、テラヘルツ波を外部に取り出した。

テラヘルツ波は、多くの分子の振動モードに一致す

TX 開通

つくばエクスプレス(TX)が8月24日開業し、「つくば駅」は一番列車を待つ本学生や観光客でにぎわった



社会貢献プロ

新規10件を採択

教職員が本学の知的財産や設備などを地域に活かす社会貢献プロジェクトの今年度の配分案が7月21日、決定した。新規課題10件と継続課題8件が採

るため、分子の検出が可能になる。そのため、MR-CTに代わる医療機器のほか、セキュリティ機器や、量子エレクトロニクスなど幅広く応用できるという。門脇教授は「今後は、高感度のテラヘルツ波の検出器や分光器を開発していきたい」と話している。

を設け、患者にCPAP使用に関する対応を行う。

初年度は、全日本トラック協会や福島県内の自治体を対象に2万人を検査する予定。6千万円の売り上げを目指す。

SASは、睡眠中に気道が閉じることから無呼吸状態が断続的に続き、睡眠の質が下がる。そのため日中に強い眠気を催し、交通事故などの危険性が高まるとされている。

がつくばベンチャー協会と共催で「つくばベンチャー大賞」を創設した。つくば発ベンチャー企業を対象にした賞が筑波研究学園都市で創設されるのは今回が初めて。対象企業は100社を超え、本賞の制定によって産業の発展と質の向上が期待される。

対象となるのは、つくば市と周辺で発足した企業やつくばの研究機関での研究成果を事業化した企業。選

期待
反発

私の感想

文理融合、学際性をうたったナンバー学群が開学34年目の07年4月に廃止される。社会から見た「わかりやすさ」を優先し、隣接する学問領域で新学群を編成した。

「筑波大らしさが失われる」「そろそろ変えどき」――など、意見はさまざま。在学生、教職員、卒業生、ゆかりのあるひとたちに感想を聞いた。(本紙・斉藤竜太、中田絢子、比較文化学類、兵庫義夫、図書館情報専門学群)



宮本 陽一郎

筑波大学として日本の多くの大学の組織改編は、かつてないスピードで進行している。大学院の再編、図書館情報大学との合併、学系の廃止といった大きな変更の余波が収まらないうちに、学群再編が決定した。私はこうした改編を実現した方々の超人的な努力に心底から敬意を払う。

そのうえで、一抹の懸念を表明せざるをえない。現在進行している改編は正しい方向に適切なスピードで展開しているのだろうか？それを私たちがどのような尺度で判断し、結果に対して誰が責任を負うのか？入学試験と就職戦線からみた「わかりやすさ」という学群再編の目標は、一応到達されたと思える。しかし文系に関していうなら、トップダウンの改編に關して自分たちの意見が汲み取られなかったと感じた学生が、母校の存続のために責

鍵握るコア・カリキュラム
ボトムアップの改革をこそ

母校をどの程度サポートするかどうか、大学の存在基盤となっていくだろう。入学時と卒業時の大学名が一致しないという体験をを持った学生が、30年後にどの程度「母校」をサポートするだろうか？度重なるトップダウンの改編に關して自分たちの意見が汲み取られなかったと感じた学生が、母校の存続のために責

母校をどの程度サポートするかどうか、大学の存在基盤となっていくだろう。入学時と卒業時の大学名が一致しないという体験をを持った学生が、30年後にどの程度「母校」をサポートするだろうか？度重なるトップダウンの改編に關して自分たちの意見が汲み取られなかったと感じた学生が、母校の存続のために責

と帰属意識を犠牲にする。とりわけこれまでボトムアップの努力を積み重ねてきた学類の教員の失望感が痛む。しかしトップダウン改革とそれに対する抵抗勢力という二極化には、未来は見出せない。トップダウンの改革とボトムアップの改革とが噛み合うか否か、平成十九年度の開講授業科目が確定するまでの1

うなカリキュラムを提示しなければならぬ。数年前に、比較文化学類の教育の充実をはかるワーキング・グループに参加しており、筑波大学の学際性を守りつつその弊害(何を学んだのかよくわからない、達成感が低い)を克服していくためには、コア・カリキュラムの導入が必要であることを私は主張

方、現在の筑波大学の総合科目のように極端な自由化に走ることチェックされ「こまでは教える」「こまでは学ぶ」という責任体制を明らかにするものであり、筑波大学の学際性を守りつつその弊害(何を学んだのかよくわからない、達成感が低い)を克服していくためには、コア・カリキュラムの導入が必要であることを私は主張

た。コア・カリキュラムとは、入学した学生にこれまでの知識と方法を責任を持って教えるという、いわゆる最低保障である。かつての一般教養科目のように、概説授業を羅列するといった無味乾燥なかたちをとらず、個々の学部・学群の独自性や、テーマに基づく授業開設といった教員の創意も尊重される。またその一

保障を「青山スタンダード」として明示し、それを支える授業をコア・カリキュラムとして編成するというのは、わかりやすい実践方法である。学群再編後の筑波大学で何をコア・カリキュラムとして掲げるかは、筑波大学のアイデンティティを主張する場となる。文系の学群にあっては、どのような学問をめざすのかを明らかにする役割を担うだろう。「筑波スタンダード」や「コア・カリキュラム」が実体的な記号として骨抜きになっていたら、憂慮しなければならぬ。

コア・カリキュラムだけでは、文系の学類が新たな学群を編成するとき、これまでは考えられなかった高度な語学教育プログラムを導入し、その一方で基礎教育に關する教員の負担を大幅に合理化することも可能である。これからの1

年、現在の筑波大学の総合科目のように極端な自由化に走ることチェックされ「こまでは教える」「こまでは学ぶ」という責任体制を明らかにするものであり、筑波大学の学際性を守りつつその弊害(何を学んだのかよくわからない、達成感が低い)を克服していくためには、コア・カリキュラムの導入が必要であることを私は主張

山田翔太さん(国際3年)の話 学群再編には基本的に賛成する。再編で外部に明だった部分が少しは改善され、社会に対しよりわかりやすくなると思う。さらに社会と国際が同じ学群になることによって講義の内容に差異化を図らざるをえない状態になり、お互いの学問的な性格がはっきりする。

このメリットに対し残念なのは国際の経済学系と工学系との立場だ。国際の情報系は残るだろうが、再編によって国際にある経済学系は、学類の色に合わなくなるので、今の経済学専攻から国際経済学専攻へと変わらざるをえない可能性がある。

新たな交流に期待

印象すっきり

以前先輩に、国際ができた時、第四学群を作ることができず、しかたなしに第三学群に組み入れられたのだと聞いたことがある。学群再編案にはすっきりしているのだろつという疑問があった。確かに、理系の人々と交流することを通して、理系の学問に興味を持てた。ただ、一緒に編成す

る必要があったのだろうか。以前先輩に、国際ができた時、第四学群を作ることができず、しかたなしに第三学群に組み入れられたのだと聞いたことがある。学群再編案にはすっきりしているのだろつという疑問があった。確かに、理系の人々と交流することを通して、理系の学問に興味を持てた。ただ、一緒に編成す

る必要があったのだろうか。以前先輩に、国際ができた時、第四学群を作ることができず、しかたなしに第三学群に組み入れられたのだと聞いたことがある。学群再編案にはすっきりしているのだろつという疑問があった。確かに、理系の人々と交流することを通して、理系の学問に興味を持てた。ただ、一緒に編成す

NECに勤務する高石友博さん(03年情報学類卒)の話 筑波大も法人化され、採算の面などを考えると学群再編は自然な流れであると受け止めている。学生など現場の声がどれだけ組み入れられたのかは

NECに勤務する高石友博さん(03年情報学類卒)の話 筑波大も法人化され、採算の面などを考えると学群再編は自然な流れであると受け止めている。学生など現場の声がどれだけ組み入れられたのかは

NECに勤務する高石友博さん(03年情報学類卒)の話 筑波大も法人化され、採算の面などを考えると学群再編は自然な流れであると受け止めている。学生など現場の声がどれだけ組み入れられたのかは

NECに勤務する高石友博さん(03年情報学類卒)の話 筑波大も法人化され、採算の面などを考えると学群再編は自然な流れであると受け止めている。学生など現場の声がどれだけ組み入れられたのかは

NECに勤務する高石友博さん(03年情報学類卒)の話 筑波大も法人化され、採算の面などを考えると学群再編は自然な流れであると受け止めている。学生など現場の声がどれだけ組み入れられたのかは

NECに勤務する高石友博さん(03年情報学類卒)の話 筑波大も法人化され、採算の面などを考えると学群再編は自然な流れであると受け止めている。学生など現場の声がどれだけ組み入れられたのかは

NECに勤務する高石友博さん(03年情報学類卒)の話 筑波大も法人化され、採算の面などを考えると学群再編は自然な流れであると受け止めている。学生など現場の声がどれだけ組み入れられたのかは

出口を大事に

NECに勤務する高石友博さん(03年情報学類卒)の話 筑波大も法人化され、採算の面などを考えると学群再編は自然な流れであると受け止めている。学生など現場の声がどれだけ組み入れられたのかは

NECに勤務する高石友博さん(03年情報学類卒)の話 筑波大も法人化され、採算の面などを考えると学群再編は自然な流れであると受け止めている。学生など現場の声がどれだけ組み入れられたのかは

NECに勤務する高石友博さん(03年情報学類卒)の話 筑波大も法人化され、採算の面などを考えると学群再編は自然な流れであると受け止めている。学生など現場の声がどれだけ組み入れられたのかは

NECに勤務する高石友博さん(03年情報学類卒)の話 筑波大も法人化され、採算の面などを考えると学群再編は自然な流れであると受け止めている。学生など現場の声がどれだけ組み入れられたのかは

NECに勤務する高石友博さん(03年情報学類卒)の話 筑波大も法人化され、採算の面などを考えると学群再編は自然な流れであると受け止めている。学生など現場の声がどれだけ組み入れられたのかは

NECに勤務する高石友博さん(03年情報学類卒)の話 筑波大も法人化され、採算の面などを考えると学群再編は自然な流れであると受け止めている。学生など現場の声がどれだけ組み入れられたのかは

NECに勤務する高石友博さん(03年情報学類卒)の話 筑波大も法人化され、採算の面などを考えると学群再編は自然な流れであると受け止めている。学生など現場の声がどれだけ組み入れられたのかは

NECに勤務する高石友博さん(03年情報学類卒)の話 筑波大も法人化され、採算の面などを考えると学群再編は自然な流れであると受け止めている。学生など現場の声がどれだけ組み入れられたのかは

NECに勤務する高石友博さん(03年情報学類卒)の話 筑波大も法人化され、採算の面などを考えると学群再編は自然な流れであると受け止めている。学生など現場の声がどれだけ組み入れられたのかは

NECに勤務する高石友博さん(03年情報学類卒)の話 筑波大も法人化され、採算の面などを考えると学群再編は自然な流れであると受け止めている。学生など現場の声がどれだけ組み入れられたのかは

NECに勤務する高石友博さん(03年情報学類卒)の話 筑波大も法人化され、採算の面などを考えると学群再編は自然な流れであると受け止めている。学生など現場の声がどれだけ組み入れられたのかは

学生の声
反映されず

学群再編で今までなかったカリキュラムや、人的交流ができてほしい。ただ今まで学群単位であったコミニティーが失われな

学群再編で今までなかったカリキュラムや、人的交流ができてほしい。ただ今まで学群単位であったコミニティーが失われな

学群再編で今までなかったカリキュラムや、人的交流ができてほしい。ただ今まで学群単位であったコミニティーが失われな

学群再編で今までなかったカリキュラムや、人的交流ができてほしい。ただ今まで学群単位であったコミニティーが失われな

学群再編で今までなかったカリキュラムや、人的交流ができてほしい。ただ今まで学群単位であったコミニティーが失われな

学群再編で今までなかったカリキュラムや、人的交流ができてほしい。ただ今まで学群単位であったコミニティーが失われな

学群再編で今までなかったカリキュラムや、人的交流ができてほしい。ただ今まで学群単位であったコミニティーが失われな

学群再編で今までなかったカリキュラムや、人的交流ができてほしい。ただ今まで学群単位であったコミニティーが失われな

学群再編で今までなかったカリキュラムや、人的交流ができてほしい。ただ今まで学群単位であったコミニティーが失われな

学群再編で今までなかったカリキュラムや、人的交流ができてほしい。ただ今まで学群単位であったコミニティーが失われな

学群再編で今までなかったカリキュラムや、人的交流ができてほしい。ただ今まで学群単位であったコミニティーが失われな

学群・学類の変遷

- 1973年10月 開学 第一学群(人文、社会、自然) 医学、体育専門学群を設置
- 1975年4月 第二学群(比較文化、人間、生物、農林)、芸術専門学群を設置
- 1977年4月 第三学群(情報、基礎工学、社会学)を設置
- 1983年4月 第三学群に国際関係学類を設置
- 1985年4月 第二学群に日本語・日本文化学類を設置
- 1991年4月 第三学群に工学システム学類を設置
- 1994年4月 農林学類を生物資源学類に改称
- 1995年4月 国際関係学類を国際総合学類に改組
- 1998年4月 基礎工学類を工学基礎学類に改組
- 2002年10月 筑波大学医療技術短期部と統合し、医学専門学群に看護・医療科学類を設置 図書館情報大学と統合し、図書館情報専門学群を設置

求められている。クラブ会などを中心に、一般の学生もまきこんで積極的に発言していきたい。

今がチャンス

人間学類では1年次に他専攻の授業を取らなければならないことになっている。それがきっかけで他専攻に進む人もい

一方、教育、心理、身障が一緒になっているにも関わらず、人間学というような独自の学問が確立されていなかったのも事実だ。

山田翔太さん(国際3年)の話 学群再編には基本的に賛成する。再編で外部に明だった部分が少しは改善され、社会に対しよりわかりやすくなると思う。

さらに社会と国際が同じ学群になることによつて講義の内容に差異化を図らざるをえない状態になり、お互いの学問的な性格がはっきりする。

再編は大歓迎

富崎雅久さん(自然3年)の話 もっと早くやって欲しかった。私は地球科学・人文地理学専攻が希望で、文系寄りだったが、自然学類が理系だから1年

富崎雅久さん(自然3年)の話 もっと早くやって欲しかった。私は地球科学・人文地理学専攻が希望で、文系寄りだったが、自然学類が理系だから1年

富崎雅久さん(自然3年)の話 もっと早くやって欲しかった。私は地球科学・人文地理学専攻が希望で、文系寄りだったが、自然学類が理系だから1年

富崎雅久さん(自然3年)の話 もっと早くやって欲しかった。私は地球科学・人文地理学専攻が希望で、文系寄りだったが、自然学類が理系だから1年

横断的な学問へ

石田和之さん(資源2年)の話 今回の学群再編に關して思うことは、周知活動が不十分で学生の意見が

石田和之さん(資源2年)の話 今回の学群再編に關して思うことは、周知活動が不十分で学生の意見が

石田和之さん(資源2年)の話 今回の学群再編に關して思うことは、周知活動が不十分で学生の意見が

石田和之さん(資源2年)の話 今回の学群再編に關して思うことは、周知活動が不十分で学生の意見が

学際性なくなる

山田翔太さん(国際3年)の話 学群再編には基本的に賛成する。再編で外部に明だった部分が少しは改善され、社会に対しよりわかりやすくなると思う。

山田翔太さん(国際3年)の話 学群再編には基本的に賛成する。再編で外部に明だった部分が少しは改善され、社会に対しよりわかりやすくなると思う。

山田翔太さん(国際3年)の話 学群再編には基本的に賛成する。再編で外部に明だった部分が少しは改善され、社会に対しよりわかりやすくなると思う。

山田翔太さん(国際3年)の話 学群再編には基本的に賛成する。再編で外部に明だった部分が少しは改善され、社会に対しよりわかりやすくなると思う。

反射鏡



安全性向上 便利さより

鈴木真理 (社会1年)

宿舎における静脈認証システムの導入は、自分の部屋に知り合いを呼びにくくなるという点ではあまり嬉しいものではない。しかし、宿舎の安全性を向上させるためには必要だと私は思う。

各部屋の扉には一応のぞき窓が設置されているが、そこから見ただけでは部屋を訪ねてきた人が怪しい人物かどうか見分けるのは難しい。

抵抗不可能な想像の恐怖 差別と懐疑が覆う都市に

田村美紗 (芸術4年)

ロンドン同時多発テロが起こった7月7日は、2012年のロンドン・オリンピック開催が決まった日だった。爆破事件が起こったのは私が地下鉄の駅を降りてから30分ほど経っていたからだと思う。ちょうど皆でタブロイド紙のウェブサイトをひやかしている時に情報が更新されて、「またミラーは誇張した情報を流しているよ」と話していたら、同じ見出しの情報がBBCにも

自分にとっては安全性より便利の方が重要だ、と思う人もいるだろう。けれど、自分だけでなく他の居住者の立場から、今の宿舎の状況をもう一度考えてみる必要があると思う。

改修こそ

優先では

深江裕美 (比文3年)

静脈認証システムが導入されるというのを初めて聞いた時、正直そんなにいいものかと思えていた。そんな物を宿舎に備え付ける必要があるのだろうかと思った。そもそもセキュリティ強化をする必要はないのか。

しかし、このシステムを導入されると決まったあと、一部の女子棟では着泥棒が増えたと聞いた。セキュリティが厳しくなる前に、ということだろうか。導入されることが報道されたから、実際導入されるま

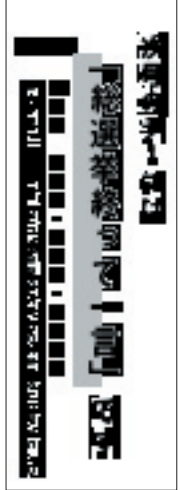
でかなりの時間がかかっている。この空白の時間が逆に学生の安全を脅かしているんじゃないだろうか。導入するまでに何らかのセキュリティ保障をする必要があるのではないか。

訪問者の

対応面倒

望月梓 (比文1年)

静脈認証システムの試運転の対象棟に、私が住んでいる棟が該当していると分かったときは、非常に面倒だった。以前、平砂宿舎で行われた試運転の際に、対象となった棟に住む多くの友人から批判的な意見を聞いていたからだ。何回もやらないと認証されない、お風呂上がりだと認証され



旅行者と現地人の温度差 日々生きる重さと難しさ

早野和広 (資源3年)

日本を離れて一カ月半、今ブルガリアの公園のベンチで中東の旅を振り返っている。今回の旅はエジプト・トルコを中心にヨルダン・ブルガリアにも立ち寄った。中東と聞いてイメージすることはテロだろう。僕も多少の心配はあったけ



崔麗梅

「お会計、別々で」。これを聞いた私は「え」と思った。日本のカップルは何でお会計を別々にするのか、最初は理解できませんでした。

中国では、9割以上は男が全部の金を払い、誕生日の人が払うことになっています。代わり、誘われた人は必ずプレゼントを持って行きます。

でも、日本は物価が高いため、日本にはないもので、うきた私には、日本の男性を覆っているようだった。

今ではほとんどの地下鉄線が復旧し、最近では射殺事件の行末、爆破事件による経済的打撃(観光と買物)が主な話題だ。一方で地下鉄構内には、ずっと

はケチにしか見えませんでした。

恋人同士なのに何で一緒に払わないの、日本の女性は可哀想だなんてずっと思いました。国では、恋人同士だけではなく、普通の男女の友人でも男が払わないと、その男はケチだと思われる。そして、女同士の友達でも、お互いに、今回は私が払う、次はあなたが払うというシステムが普通です。誕生日にも大勢の人たちを誘って打ち上げ、カラオケなど全男が全部の金を払い、誕生日の人が払うことになっています。代わり、誘われた人は必ずプレゼントを持って行きます。



「お会計別々で」に驚き友人と祝う誕生日

日本では大体親と一緒で過ごすと思います。しかし、中国では友達と一緒に過ごすのが基本です。朝は、家で母が作ったわかめスープを飲み、生日が夏なので、冷麺を食べます。他にも牛肉麺、ジャージャー麺などいろいろあります。牛肉麺は日本にはないもので、うきやま(中国、図書館情報専門学科1年)

「お会計、別々で」。これを聞いた私は「え」と思った。日本のカップルは何でお会計を別々にするのか、最初は理解できませんでした。

中国では、9割以上は男が全部の金を払い、誕生日の人が払うことになっています。代わり、誘われた人は必ずプレゼントを持って行きます。

でも、日本は物価が高いため、日本にはないもので、うきた私には、日本の男性を覆っているようだった。

今ではほとんどの地下鉄線が復旧し、最近では射殺事件の行末、爆破事件による経済的打撃(観光と買物)が主な話題だ。一方で地下鉄構内には、ずっと

はケチにしか見えませんでした。

恋人同士なのに何で一緒に払わないの、日本の女性は可哀想だなんてずっと思いました。国では、恋人同士だけではなく、普通の男女の友人でも男が払わないと、その男はケチだと思われる。そして、女同士の友達でも、お互いに、今回は私が払う、次はあなたが払うというシステムが普通です。誕生日にも大勢の人たちを誘って打ち上げ、カラオケなど全男が全部の金を払い、誕生日の人が払うことになっています。代わり、誘われた人は必ずプレゼントを持って行きます。

日本では大体親と一緒で過ごすと思います。しかし、中国では友達と一緒に過ごすのが基本です。朝は、家で母が作ったわかめスープを飲み、生日が夏なので、冷麺を食べます。他にも牛肉麺、ジャージャー麺などいろいろあります。牛肉麺は日本にはないもので、うきやま(中国、図書館情報専門学科1年)

「お会計別々で」に驚き友人と祝う誕生日

日本では大体親と一緒で過ごすと思います。しかし、中国では友達と一緒に過ごすのが基本です。朝は、家で母が作ったわかめスープを飲み、生日が夏なので、冷麺を食べます。他にも牛肉麺、ジャージャー麺などいろいろあります。牛肉麺は日本にはないもので、うきやま(中国、図書館情報専門学科1年)

ロンドン テロの現場から エジプト



クフ王のピラミッドの前で

ヨルダンからエジプト行きフェリーの前にいた。ダハブというシナイ半島の村に行く途中だった。エジプトに着き、ダハブ行きのバスを待っている時にテロのことを韓国人旅行者から聞いた。ダハブはテロが起きたシャルム・イシシェフからバスで一時間しか離れていない。

だが、ダハブに着いてみると、なんら変わった様子はないし、人々はのんびりと過ごしていた。現地のエジプト人にテロのことを聞くと、ダハブは大丈夫だとのんきに言う。

ヨルダンからエジプト行きフェリーの前にいた。ダハブというシナイ半島の村に行く途中だった。エジプトに着き、ダハブ行きのバスを待っている時にテロのことを韓国人旅行者から聞いた。ダハブはテロが起きたシャルム・イシシェフからバスで一時間しか離れていない。

だが、ダハブに着いてみると、なんら変わった様子はないし、人々はのんびりと過ごしていた。現地のエジプト人にテロのことを聞くと、ダハブは大丈夫だとのんきに言う。

ヨルダンからエジプト行きフェリーの前にいた。ダハブというシナイ半島の村に行く途中だった。エジプトに着き、ダハブ行きのバスを待っている時にテロのことを韓国人旅行者から聞いた。ダハブはテロが起きたシャルム・イシシェフからバスで一時間しか離れていない。

だが、ダハブに着いてみると、なんら変わった様子はないし、人々はのんびりと過ごしていた。現地のエジプト人にテロのことを聞くと、ダハブは大丈夫だとのんきに言う。

ノーベル物理学賞・東教大学長・後進の育成…

来春 朝永博士生誕百年

多彩な記念事業で祝う 名作「評伝映画」も再上映

1965年に、日本人と記念講演会では、記録映画「映像評伝・朝永振一郎(制作・山陽映画、監督・野崎健輔)」を上映する。これは、95年に制作され、文部省の業績と生涯を、関係者の証言や映像資料などによって構成したもの。日本人で初めてノーベル物理学賞を受賞した湯川秀樹博士ら受賞の対象となった「繰り込み理論」を完成させる過程を下キムメンタリーにした。博士の業績と生涯を、文部省の業績と生涯を、関係者の証言や映像資料などによって構成したもの。日本人で初めてノーベル物理学賞を受賞した湯川秀樹博士ら受賞の対象となった「繰り込み理論」を完成させる過程を下キムメンタリーにした。博士の業績と生涯を、文部省の業績と生涯を、関係者の証言や映像資料などによって構成したもの。日本人で初めてノーベル物理学賞を受賞した湯川秀樹博士ら受賞の対象となった「繰り込み理論」を完成させる過程を下キムメンタリーにした。



1977年12月3日、最後に来学したときの朝永博士



私は、5人兄弟の下から2番目、父は私が小学3年生の時に確か癌で亡くなり、母一人の手で育てられた。

小学校に入る前から模型飛行機制作に明け暮れた。高価なキットは買えず、材料をあちこちからかき集め、ゴム動力の飛行機制作に傾注した。中学、高等学校へと進むにつれて一層、熱が入り、アルバイトをしながら貯金をしつつ、それを模型飛行機制作費に費やした。

失敗おそれず夢を実現 安全な水の供給を目指す

ツパになる心細さを感じた。息の長い研究者になりたいと意識し、決意した。母が内職までして生計を立てているなか、勝手に大学に進学し、母を再び困らせた。しかし卒

た。ワイヤー付のエンジン飛行機からラジオコントロール(無線操縦)の飛行機制作へ進展した。その後、実際の飛行機を操縦すべくパイロットの道へ進んだが訓練のさなか将来に上った力

る。記念事業では、近隣の中学・高校で朝永博士の業績を紹介する出前講義を行う「青少年プログラム」や、博士に関する総合ホームページの開設も予定している。博士は京都大学や理化学研究所で量子力学を研究した。41年に東京文理科大学教授に就任し、戦後は東京大学の開設も予定している。博士は京都大学や理化学研究所で量子力学を研究した。41年に東京文理科大学教授に就任し、戦後は東京大学の開設も予定している。博士は京都大学や理化学研究所で量子力学を研究した。41年に東京文理科大学教授に就任し、戦後は東京大学の開設も予定している。

NHK賞を受賞 惜しくも5連覇ならず

学生の創作ダンスコンクールとして全国最大規模の第18回全日本高校・大学ダンスフェスティバルが7月29・31の3日間、神戸市で開催された。昨年、史上初の4連覇を達成したダンス部は今年、NHK賞を受賞したものの、最高位の文部科学大臣賞は逃した。大会は創作コンクールと参加発表の2部門に分かれている。ダンス部は創作コンクール部門大学の部に参加し、出場31校と競演した。今年の作品は「赤い月



杉浦 則夫

苦心惨たんして立てた実験計画で実験がうまく行った時の喜びは、まったく模型飛行機制作から学んだことと同じで、何にも変えがたい。今、大学という教育・

研究の場において、一層駆り立てられることは、発展途上の水資源環境の確保と実際に人の健康に安全な水を造り、供給に貢献したいこと。

日本初の栽培実験 環境への影響「なし」

大学の遺伝子実験センターは、隔離ほ場内で、日本初となる遺伝子組み換え樹木の栽培実験を行うと7月22日、発表した。ほ場では今年9月から09年12月末にかけて、耐塩性遺伝子組み換えユーカリを栽培する予定だ。耐塩性遺伝子組み換えユーカリは環境保全や産業樹木として注目され、今回の実験は関連企業や他大学の関心を集めている。

実験は、バクテリアの遺伝子を導入し、耐塩性を持たせた3種のユーカリを開放空間で栽培。遺伝子組み換えユーカリが自然状態のように成長するかを評価する。同実験に携わる渡辺和男

ロボカップ2005 坪内助教ら参加

教育大で学長を務め、素粒子論グループの指導者として、超多時間理論などを完成した。65年、繰り込み理論で、日本人として2人目のノーベル賞を受賞した。ロボカップ2005が7月13日〜19日にインテックス大阪(大阪市住之江区)で行われた。本学からは知能ロボット研究室の坪内孝司助教が、大臣賞が欲しかったが、全員で作品を作り上げた達成感があった。NHK賞でも嬉しい」と語った。



千本秀樹

結婚した当時の吉宗は、権の折り目をたたむ」とい

自己と社会を変革する営み 囚われの女たち

山代巴著

吉宗は獄死するが、釈放された巴は戦後帰郷し、農村の女性たちと吉宗とともにつむぎだした指針に沿ってサークル運動を展開する。この運動は、共同の力によって自己と社会を変革する営みである。私流に言い換えれば、人と人との関係を変革することによって世間を作り直していく作業だ。巴の戦後の営みについては『山代巴文庫』第二期全八巻に収められているが、その基礎となるものは、『囚われの女たち』に描かれた戦時下にあった。歴史を人と人との関係の変革の営みとして考えたいという、私の歴史観に大きな影響を与えた作品である。山代巴はついでに『くさくさ』という小説を書いた。御冥福を祈る。(怪書房・1995年)(人文社会・教授)



山代巴

「私の一冊」といっても、山本巴文庫第一期として刊行された十巻から成る大部の自伝的小説である。長編であったが、読み始めると読者を夢中にさせる作品である。

同大会は人工知能の発展のために自律移動ロボットによるサッカーを題材として開催された競技会だ。現在では、大規模災害時に活躍できるロボットを開発することを目的としてロボカップレスキュー、次世代の技術の担い手を育成することを目的にしたロボカップジュニアも行っている。

院生 厚生指導

「指導教員とうまくいかない」「研究室の先輩と衝突する」「研究に行き詰まっている」「進路が不安。研究や研究室での問題に悩む大学院生は年々増えている。保健管理センターの学生相談室を訪れる院生は、92年度の42件から03年度

は137件と約3倍に増えた。

博士課程の改組・再編や連携大学院など大学院が多様化し、10年前は25003人だった院生も現在は5640人。だが、学生相談室の相談員でもある杉江征助教授(人間総合)は「多様な院生に対応する厚生指導はあまり行われていない」と指摘する。

院生の生活の中心は学群生と違い、研究室にある。そのため、授業以外の問



院生室でそれぞれ研究に取り組む

ストライク

題はすべて研究室にあると言っても過言ではない」と

行き場のない院生の悩み

支援体制の確立急ぎ必要

吉田吉行さん(数理物質科学研究所1年)は「研究科1年(人文社会)も「研究がうまくいけば、悩みは自然に解決することが多い。直に接する指導教員が対処しなければ」と主張する。最近では、授業評価やファカルティ・ディベロップメントなど教員の教育活動を見直

きらめるかで苦しむ学生もいるという。杉江助教は「在籍の1人で研究の視野が狭まるのではないかと心配する。指導教員との関係に悩む学生もいる。学生にとって、論文や学会活動に際し、重要な役割を果たすのは指導

す動きも出ている。現代の院生像について「ちょっとしたことで挫折したり、すぐに教員のせいになり、学生が増えたのではないか」という声もある。水林博教授(数理物質)は「以前は教員から厳しく指導されるのは当たり前だったが、いまはどう接しているのか」と話す。本学の大学院には、学群を対象にした学生担当教員室やクラス制度のような組織はない。他大学でも院生の厚生指導に対する取り組みは似たりよったりだ。杉江助教は「学群生だけではなく、院生の学生生活をサポートする制度やシステムも必要ではないか」と提案している。(本紙・城下めい子、日本語・日本文化学類)

友部小アート空間に

総合芸術OB教員が企画運営

芸術専門学群総合造形コースの学生20人が中心となって、現代美術の展覧会「アートドリル」が8月14日から20日までの一週間、友部小学校(茨城県友部町)で開催された。同小学校の児童や地域住民らのべ1421人が訪れた。

中でも、小中大地さん(芸術3年)の作品「ガッコープリン」がひととき子供たちの関心を集めた。教室



学内バスは、29年間に

1976年から29年間、学生の足として親しまれてきた学内バスが7月22日、業務を終了し、本部棟北側にある学内バス専用車庫で「さよなら式典」が開かれた。式典に参加した学生、教職員を合わせて120人が、最後の運行を終えたバスと運転手7人を労った。週休2日制の導入により大幅な減便を行った93年以来、学内バスの利用者数は下降の一途をたどっていた



最後の運行を終えた運転手さんに花束が贈られた

工藤典雄副学長(総務・企画担当)は「路線バスは今までの暖かい雰囲気とは異なるが、様々な学問分野を運ぶ架橋としての活躍を期待している」と式典を締めくくった。



ほうきやパケツ、上履きなどを使った楽器のアート(友部小学校で)

ホームページ改ざん問題

stbシステム復旧

セキュリティ強化図る

課外活動団体のホームページが改ざんされたため、サービス停止していたウェブサーバ「stbシステム」が7月4日、復旧した。同システムは学生団体などのホームページを管理しているが、6月6日改ざんが発覚した後、すべてのサービスを停止した。現在は管理用のコンピュータを撤去し、7月から新たに学術情報処理センターが提供するサービス「レンタルサーバ」を利用している。同サービスのサイト管理は同室が行うが、管理用コンピュータの設置やパスワードの設定などは学情センターが担当する。パスワードはコンピュータがランダムに設定したものを配布し、セキュリティレベルの向上を図るという。

この記事にとりかかると、何気なくテレビのスイッチを入れた。画面に映ったニュースで、高知県にある早明浦ダムが貯水率が、夜に降った雨で回復したと報じていた。これから台風の季節になるけれど、雨が四国を潤してくれ、雨を頼むという気持ちでいる。2歳で引っ越してからずっと茨城で育ってきた。そのせいもあるが、大学に入るまで関東以外の地域にそれほど関心なかった。それが今では地方のニュースが気になるって仕方ない。

それはやはり、地方出身の友人が増えたからだろう。北は北海道から南は種子島まで、様々な知り合いがいるが、関東出身者を探すほうが難しい。渾水の四国にも、高知で

友人関係が広げる世界観

うことに障害者も健常者もいない。そういう意味では大学の4年間で得られたもの、人とのつながりが、障害の克服、あるなしを超えた、最も公平な指標といえる。それぞれの



菊地 亮

は、真つ暗な教室に光る水槽を展示した「金魚室」という作品もあった。

2学期入学式 平成17年度2学期入学式が8月8日、大会館特別会議室で行われ、学群生24人、大学院生16人の計40人が入学した。

大学説明会 3日間で7931人が参加

1学期末卒業式が7月25日行われ、31人が学位記を受け取った。同日、大学院学位記授与式も行われ、修士課程修了者28人、博士課程修了者18人、同課程修士取得者2人、論文博士23人の計71人に学位が授与された。

による体験談を盛り込み、特色をアピールした。説明会には07年度の学群再編実施以降に受験する高校1、2年生も参加していた。自然学類や人間学類は再編後のカリキュラムや入試制度についても説明を行った。

自然学類は「再編によって受験生、在校生に不利になることはない」とし、今後、より専門性の高い授業を学生に提供する努力を

訂正 前号の東西インカレについての記事で主権が「つくばユナイテッド」とあるのは「全日本大学バレーボール連盟」の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

学生宿舎の静脈認証システム

運用開始時期 決まらず

個人情報管理など不明
全代会 大学に要望書提出

学生宿舎地区の安全を確保するため各棟の玄関に設置された静脈認証システムの運用が遅れている。

全学学類・専門学群代表者会議（全代会）が5月13日に▽静脈データ管理法の情報開示▽学生に対する広報の強化▽システム開始の延期――を求める議案書を提出し、これを受けて大学は運用の延期を決定した。学生からは「いつ始まるのか」「現状はどうなっているのか」など不安の声が出ている。当初、大学は5月20日の運用開始を予定していたが、8月11日までに2回、一部の棟で試運転を実施したのみだ。

昨年から、同システムの導入をはじめ、学生宿舎の改善を検討してきたセーフティプロジェクト（リーダー工藤典雄総務担当副学長）に村上圭前全代会議長（人間4年）が加わっていた。5月に座長団からシテム導入について「宿舎退去後の個人情報の扱いが不明確だ」「管理者が誰かわからない」「災害時に救助隊が入室できないのでは」といった不安の声が上がり、議案書を提出した。全代会厚生委員長の小林敬介さん（工シス2年）は「問題をセーフティプロジェクトに任せきりにしていたため、全代会内での議論が遅れた」という。

全代会は7月4日・7日の2回、各学生宿舎共用棟で技術責任者、運用責任者の出席を求めて公聴会を開いた。個人情報の管理について大学側は「漏洩する可能性は極めて低い」と説明したが、全代会が提示した管理責任不在時の対応、災害時の対応問題については明確な回答が得られなかった。

6月に行われた第一回目の試運転では、認証がうまく動作しないという問題が明らかになった。同システムを販売するデジコム（本社：東京・新宿区）は「女性の手の甲は男性よりも脂肪が付いているため、手をかざす角度によっては認証しにくくなる場合がある」と

教授風詐欺師を逮捕

つくば中央署 「被害者は届出て」

本学生を主な相手に、寸借詐欺を繰り返していた男2人が逮捕された。

つくば中央署は6月14日、阿見町吉原、無職、岡田志功容疑者（50歳）を詐欺の疑いで逮捕した。調べによると岡田容疑者は、今年4月1日午後3時ごろ、現金計5万5000円をだまし取った疑い。

同署は8月14日、寸借詐欺の疑いで住所不定無職、市原勇容疑者（51歳）を逮捕した。市原容疑者は同日、



谷田部中の夏期講習
本学生 28 人が学習指導
中学生の学力向上を支援

つくば市立谷田部中学校の夏期講習「谷田部塾」で、本学生28人が7、8月中の15日間、夏休みの課題や受験勉強を手助けするなど学習指導に携わった。

これは、学習上のつまづきを解消し、生徒の学習意欲を向上させようと文部科学省が行っている「学力向上支援事業」の一環で、昨年度から始まった。2年目の今年も好評だ。

指導科目は英語・数学・国語が主で、同中学校でのべ745人が受講した。同

と原因を説明する。内蔵されている赤外線カメラを調整するなど改良をし、8月に第2回目の試運転を実施した。

これらを踏まえて厚生委員会は、学生生活課と協議を進めている。目下の協議事項は▽玄関扉横に設置される新聞受けに鍵を設置するかどうか▽外廊下のある棟へ柵を設置する▽非常口からの出入りの規制――などだ。システム保護のため、防犯カメラを玄関に新設するかどうかも協議中だ。

小林さんは「学生に対する説明が不十分だ」と話す。未解決問題については、セーフティプロジェクトの

このほか、岡田容疑者は昨年4月にも同様の手口で別の本学生（当時2年生）から現金合わせて12万5000円をだまし取った疑いがかけられており、同署は余罪についても調べている。

同署は8月14日、寸借詐欺の疑いで住所不定無職、市原勇容疑者（51歳）を逮捕した。市原容疑者は同日、つくば市柴崎の知人宅にいたところを逮捕された。

調べによると、市原容疑者は今年5月5日と7日に、本学の男子学生から現金計37万円をだまし取った疑い。市原容疑者は、自らを暴力団関係者と名乗り、「借借書を書き、返済する」など嘘を言って被害者をだましていた。

市原容疑者は同様の手口で昨年7月と今年4月にも本学生から多額の現金をだまし取っている。教授風を装ったり、暴力団関係者であると詐称したりしていた。本学生を狙って繰り返した寸借詐欺は5件以上、被害総額は100万円以上に上るとみられ、余罪を追及している。警察に届けていない被害者もいるとみら

会議で議論する。9月以降も大学側に公聴会の開催を求めているという。

大学は、全代会が了承するまで運用しないことを約束している。学生生活課は「運用開始時期は未定」としている。

9月からは、5、6時間目から放課後にかけて、引き続き実施される。参加希望者を現在も募集中だ。

029・853・4744（吉田武男助教授・人間総合）まで。



3年生には主に受験勉強の手助けをする（谷田部中国書室で）

宿舎風呂アンケート

後任業者選定に利用

全学学類・専門学群代表者会議（全代会）が学生宿舎の浴場に対する要望書を作成するため6月1日から8日間行った「宿舎共用棟の浴場に関するアンケート」の結果がまとまった。

結果は厚生会理事會に報告し、11月に撤退する吉池サビスの後任業者選定に役立てたいという。

回答は社会工学類、医学、体育、図書館情報専門学群を除く14学類から計1072人分集まった。「料金に関する質問項目では「非常に不満」と答えた学生が614人と最も多かった。「営業時間が延長

鳥人間コンテスト

飛んだ289メートル

自主制作した人力飛行機で飛行距離を競う第29回鳥人間コンテストが7月16、17の両日、琵琶湖の松原水泳場（滋賀県彦根市）で開催された。単葉機が主流の同大会で、本学のつくば鳥人間の会は翼を二組持つ複葉機「KAGEROW」で出場。289メートルを飛行し、8位だった。複葉機の飛行記録としては過去最高となる。

パイロットの鈴木喬さん（芸術3年）は「今年の機体はまだまだ飛べたはず。飛んでみてわかった琵琶湖の風を後輩に伝えていきたい」と話した。

へ赴く。

個人によって練習のペースはさまざま。天気が良ければ週5日以上、足尾山に足を運ぶメンバーもいれば、月に1度、気分転換に参加するメンバーもいる。ハンググライダー学生リーグ主催の大会への参加も自由だ。

ハンググライダーは、全長5メートルの大きな三角形のパイプ枠でできた固定翼に布を張り、ぶら下がって滑空する。その形から魚の「エイ」に例えられることもある。飛行距離は長く、伊藤由陸さん（ひろのり・数理物理学研究科3年）は「練習を積み重ねて60〜70キロを飛行することも難しくない。足尾



気ままな飛行で、絶景楽しむ

飛行だけが活動の魅力ではない。山の麓にはショップと呼ばれる場所があり、入山者管理を行うSet茨城が提供する休憩所がある。休憩所には、慶応義塾大や早稲田大、日本大などの主に関東の大学から訪れた学生が集まる。練習中、お互いにアドバイスをし合うこともしばしばだ。他大学の学生と意気投合し、全国各地で行われる大会の会場へ乗り合わせて行くこともある。

代表の桑島修彦さん（工シス3年）は「どこまで飛べるかも、誰と知り合うかもわからない。気まぐれだけれど、そこがまた面白い」と醍醐味を語った。

（本紙・吉田ひろ二人間学類）

アイオロス

アイオロスは1983年に創設され、85年には日本テレビ主催の「鳥人間コンテスト」に出場したこともある。たこともある。週一回ミーティングをし、土日はつくばから約30キロメートル離れた足尾山（茨城県新治郡）

Who's Who?

キャリアデザインルーム

二学B棟2階に開設

就職支援の一環としてキャリアデザインルームが第二学群B棟2階の学生控え室に開設され、相談を受けた。相談員は、来年3月まで、相談員の草野祐子さんが進路や学生生活に関する悩みなどの相談に乗る。無料。

キャリアデザインルームは就職活動のきっかけを提供しようと、第二学群生命環境科学等支援室が開設した。相談員は、来年3月まで、相談員の草野祐子さんが進路や学生生活に関する悩みなどの相談に乗る。無料。

キャリアデザインルームは就職活動のきっかけを提供しようと、第二学群生命環境科学等支援室が開設した。相談員は、来年3月まで、相談員の草野祐子さんが進路や学生生活に関する悩みなどの相談に乗る。無料。

OBの3講師招いて

人文学類は卒業生を招いて就職説明会を9月16日午後3時15分から6時15分まで1D204で行う。企業への就職や、教員、公務員を希望する学生が主な対象。講師は、文化庁文化財部伝統文化課主任調査官の菊池健策氏、ベネッセコーポレーション教育研究開発部長の山田孝一氏、文芸春秋編集長の山田孝一氏。

有森選手らとトレーニング

有森裕子や高橋尚子というマラソンランナーを育てた小出義雄監督(佐倉アスリート倶楽部)の指導を受け、11月のニューヨークシティーマラソンを目指すプロジェクト「Road To NYC」に、水谷理紗さん(医学2年)が挑戦している。

練習メニューで記録目指す

4月に雑誌「小出監督の指導で走ってます」の募集広告を見て、「小出監督に指導してもらえませんか」とプロジェクトに応募。面接とランニングによる選考会では「私はこれからまだ」

ウガンダへ机や椅子を

飢餓、貧困の削減を目指す非政府組織(NGO)のユース・エンディング・ハングー・アーク(YEHアーク)が9月18日「チャリティーコンサートforウガンダ」を、つくば市立中央図書館アルスホール(つくば市吾妻)で開催する。6回目となる今回は、初の学外コンサート。コンサートでは、Doo Wop、管弦楽団などが演奏するほか貧困と闘うウガンダの人々からのメッセージビデオを流す予定だ。第一部はロックバンド「Doo Wop」。

新人記者募集

編集部では、新人記者を募集しています。企画の立ち上げから取材、撮影、執筆、編集まで、全て学生の手で行っています。取次先は学生から学長、世界大会出場選手やノーベル賞受賞者などさまざま。取材範囲も本学のニュースを追って、学生生活から学長室はもちろん、スポーツ大会の開催地など全学、全国にわたります。マスコミに興味のある学生は、shinbun@sakura.cc.tsuakuba.ac.jpに問い合わせ0299・853・6699(編集部)。

次号は10月17日(月)発行予定です

ウガンダへ机や椅子を

飢餓、貧困の削減を目指す非政府組織(NGO)のユース・エンディング・ハングー・アーク(YEHアーク)が9月18日「チャリティーコンサートforウガンダ」を、つくば市立中央図書館アルスホール(つくば市吾妻)で開催する。6回目となる今回は、初の学外コンサート。コンサートでは、Doo Wop、管弦楽団などが演奏するほか貧困と闘うウガンダの人々からのメッセージビデオを流す予定だ。第一部はロックバンド「Doo Wop」。

新人記者募集

編集部では、新人記者を募集しています。企画の立ち上げから取材、撮影、執筆、編集まで、全て学生の手で行っています。取次先は学生から学長、世界大会出場選手やノーベル賞受賞者などさまざま。取材範囲も本学のニュースを追って、学生生活から学長室はもちろん、スポーツ大会の開催地など全学、全国にわたります。マスコミに興味のある学生は、shinbun@sakura.cc.tsuakuba.ac.jpに問い合わせ0299・853・6699(編集部)。

次号は10月17日(月)発行予定です

大学会館書籍部ベストセラー

1	恋バナ	Yoshi/スターツ出版
2	土の中の子供	中村文規/新潮社
3	花まんま	朱川湊人/文芸春秋
4	スイッチを押すとき	山田悠介/文芸社
5	野ぶたをプロデュース	白岩玄/河出書房新社
6	天使のナイフ	葉丸岳/講談社
7	新ゴーマニズム宣言SPECIAL靖国論	小林よしのり/幻冬舎
8	憲法を変えて戦争へ行こうという世の中にしないための18人の発言	井筒和幸ほか/岩波書店
9	子どもの心	二本克明/1万年堂書店
10	病気になるない生き方	新谷弘実/サンマーク出版

催事

上映会
◆映画上映「わらびのころ／蔵野行」9月24日午後1時、6時半開演、つくばノバホールで。
江戸中期のある村の「棄老伝説」をテーマにした物語。原作は村田喜代子、監督は恩地日出夫。出演は市原悦子、清水美那、石橋蓮司ほか。

演奏会
◆管弦楽団 金管・打楽器セクションによるアンサンブルコンサート 9月11日午後2時から、ノバホール
前売り一般1500円、学生1000円。当日券3000円増し。
問い合わせ0299・852・3033(長崎・広島60周年チャリティー委員会、鶴)◆管弦楽団第58回定期演奏会 10月7日午後7時開演、ノバホールで。
チャイコフスキー作曲バレエ組曲「くるみ割り人形」から、ラフマニノフ作曲「交響曲第一番」指揮は田中一嘉。S席1200円、A席800円。
問い合わせa.nakama3@yahoo.co.jp

動物図鑑

アオサギ

体色が灰色のサギ。体長は約90センチで頭は白。目の上から後頭部まで黒いラインが伸びる。胸や腹、首の前面に黒い斑紋がある。河川や水田、沼などに生息する。長い足で水辺を歩き、魚などの水生生物を捕る。学内では、兵太郎池や第二、第三学群棟の間の噴水池で時折、見かける。「アーツ」という鳴き声に驚かされる。
(写真・文)大竹亮介、清水将太・生物学類2年、野生動物研究会)